平成27年度公共事業再評価諮問地区「継続」理由書等

(課名:道路課)

事業名	道路整備交付金事業(防災・安全社会資本整備交付金)
(路河川等名)	国道 204 号 (湊工区)
継続理由	■道 204 号 (湊工区) ・ 本路線は、唐津市と伊万里市を結び物流や産業、観光を支援する重要な路線であり、道路沿線には商業施設や観光施設等が建ち並び、大型車両のみならず年間を通じ交通量多い路線である。 ・ 事業箇所周辺には、小中学校や保育園、公共施設が隣接し、通学路にも指定されているが、道路幅員が狭小で歩道も無いため、地元より整備を要望されている。 ・ 特に、志坂鼻(カーブ区間)については、幅員狭小に加え視距も悪く、路肩を通行する歩行者、自転車の接触事故が危惧されている。 また、平成 27 年 8 月に地すべりが発生した際には、現道を通行規制したことにより、近くに一般車両の迂回路が無く、バスの運休など地元の生活や経済活動に大きな影響を与えた。 このため、安全に通行できる道路の整備が強く望まれている。 ・ 自動車交通量については、西九州自動車道や国道 204 号唐房バイパスの整備により、呼子方面への交通の利便性が向上し、イカの活きづくりや朝市を目的とした観光、イカをはじめとした特産品の出荷等更なる交通量の増加が予想される。 ・ 事業進捗状況としては、平成 26 年度末時点で全体計画1、730mのうち約1、300mを完了させており、歩行者、自転車の交通安全が図られている。 ・ 残る約400m区間(起点部及び志坂鼻)についても地元より早期整備を要望されており、歩行者、自転車の交通安全と自動車交通の円滑化を図るため、引き続き事業を継続したい。
B/Cの 算出方法	・ 交通安全事業(歩道整備)であるため B/C は算出しない。
備考	

平成27年度再評価対象事業 (事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

事 業 名 (路·河川名等		事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情 勢 等 の 変 化	費用対効果 の要因の変化	コスト縮減や代替案 等 の 可 能 性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
道路整備交付金 事業(防災・安 全社会資本整備 交付金) 国道204号(湊工 区) 事業主体:県 事業地:唐津市 湊町	安 万里市を結び物流や産 業、観光をり、道路を重要線には商業施設や観光をり、道路の業施での表が、道路地で、大型道にはが建ちず年間をある。 市・事業箇所周辺には、小中学校・保育園、公共施設で、通学路にもが、道路にも指が、地では、近路には、かずには、が、道路には、が、道路には、が、道路には、が、道路には、が、道路には、が、道路には、が、道路には、が、道路には、が、道路には、が、が、道路には、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が	 ・全体事業費:46.0億円 ・工期:H18~H30 ・事業内容 延長 L=1,730m 幅員 W=13.0(6.5)m 改良工 L=1,730m 掘削工 V=121,000m3 舗装工 L=1,730m 測 試 1式 用地補償 1式 	・H26末進捗率:約75% (事業費ベース) (年平均進捗率:8%) ・用地補償契約は約98%完了	・西九州自動車道や国道 204号唐房バイパスの整備 により、呼子方面への交通 の利便性が向上し、イカの 活きづくりや朝市を目的 とした観光、イカをはじめ とした特産品の出荷等更 なる交通量の増加が予想 される。	るためB/Cは算出 しない。	(コスト縮減) ・事業採択	・事業採択後10年経過のため再評価	た (理由) ・平成26年度末時 点で全体計画 1,730mのうち約 1,300mを完了させており、歩行 者・自転車の交通 安全が図られている。 ・残る約400m区	
	狭小で歩道も無いため、地 元より整備を要望されてい る。							間(起点部及び志 坂鼻)についても 地元より早期整	
	・区狭路自さ すはこ車スやを で望 ・生自る 【・プ策れ携通の特間小肩転れまべ、と両の経与こきま 以徒動の 他津グ要おてで全 に加通のい、が道よ迂休活たた道て の地交あ 「にを車てたり現にの運済えのるれ 上や車で 他市ラ箇り、き確 たい視す触。成生通、路どに 、のる と住の。 学にに関童よを り回な動。め路い こ域通る 一個ス所、児る保 にも歩故 年た規く無元き 全備 らの滑 路お位係等う図 路お位係等う図 と住の。 「とれて付関安通で とり回な動に、のる ととの。 「とれては、のる」が、変化 「ないと、のる」が、変化 「ないと、ないと、ないと、ないと、ないと、ないと、ないと、ないと、ないと、ないと、		100.0% 80.0% 60.0% 40.0% 20.0% H18 H19 H20 H21	進捗率 H22 H23 H24 H25 H26 H27	H28 H29 H30			備を要と円め、まで、全の上で、全のた業のでは、全のた業のでは、このでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	